

圏域の将来像

「あなたが かえるまち 西九州」

～変える・還る・替える～

「変える」=暮らしや地域をより良く変える

「還る」=他の地域に出たとしても再び圏域に還る場所がある

「替える」=圏域内に住まいを替える

圏域の特徴として、自然が豊かで、個性ある様々な歴史・文化を継承しながら、工業・商業の集積によって発展してきた地域であり、生活の中でも多様性を受け入れることができるユニークさがあります。11の市町がそれぞれ主役となりながらも、相互に圏域住民の生活を支え合える魅力的な圏域の発展を目指していきます。

3つの「かえる」。

戻ってきたい、この地域で暮らしたいと思われる地域であり続けるため、この圏域を「ふるさと」として、圏域住民の皆さんとともに、よりよく変えていきましょう。

小値賀町
新上五島町

圏域の目標人口

2040年  40万人以上
(平成52年)

各市町が策定した総合戦略や、都市圏ビジョンに位置付けた具体的な取り組みを推進し、首都圏等の都市部への転出抑制を図っていくことで目標人口の達成を目指します。

※「都市圏ビジョン」は佐世保市のホームページで公表

主な具体的取組(連携事業)



クルーズ船入港体制整備

佐世保市の浦頭地区において、東アジアを発着地とするクルーズ船の寄港拠点を形成するため、官民が連携して港湾施設の整備を行います。日本に寄港するゲートウェイ機能を有する拠点港として発展することを目指します。



栽培漁業の広域連携

佐世保市の水産センターを活用して、稚魚などを計画的に生産し、圏域内の種苗供給の安定化や栽培漁業に関する技術・種苗の開発を目指します。



大学等による地域課題解決に向けた研究の推進

九州西部地域の大学・短大等と、西九州させば広域都市圏との連携体制を構築し、地域課題解決に向けた共同研究など、相互間連携の促進を図ります。



広域連携による周遊観光の推進

科学的なアプローチや現状分析により、ターゲットを明確にしたインバウンドセールスやマーケティング対策により、圏域内の周遊観光を促進します。



婚活サポートの推進

圏域の拡大により、広域からの参加者の増加、独身男女の登録者の増加が見込まれ、より多くの出会いの場の創出を図ります。

圏域の魅力向上のため、圏域全体で応援します！



世界遺産の保全活用

平成30年7月に、世界文化遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の保全・活用を図ります。(平戸の聖地と集落、野崎島の集落跡、頭ヶ島の集落、黒島の集落)



工業団地の造成・企業誘致の推進

平戸市、松浦市、西海市、伊万里市、有田町において、工業団地の造成や企業誘致の推進により、新卒者やUターン者等の多様な就労の場の確保と定住人口の増加を図ります。



圏域における交流拠点機能の連携

波佐見町の陶器まつり、伊万里市の窯元市、有田町の有田陶器市など、圏域の魅力や情報を発信することで、圏域内の交流を促進させます。



平戸城大規模改修事業

平戸城の天守閣及び各櫓やライトアップ等のリニューアルや日本100名城初の城の宿泊施設整備を行い、圏域内観光客や交流人口の増加を目指します。